

段取りで有効活用！ICT建機。



凄さは 認識済み！

今回の現場は千葉県北東部にある漁業の町の銚子市を流れる利根川の築堤工事。河川敷に4万9000m³の盛り土をするそう。施工するのは茨城県潮来市に拠点を置く松崎建設(株)様。担当営業に導入の経緯を聞いた。「松崎建設(株)様は今回が2度目のICT建機の導入になります。前は『ICT建機はとても良い』との口コミを工事部長の大崎茂樹さんが耳にしたことがきっかけでした。実際にご使用になられICT建機の導入の効果は認めて頂きました。」と笑顔で話した。そして、「2度目となる今回は、ICT施工が条件の現場でしたので早い段階で導入が決定しました。前はICT建機のみでしたが今回はクラウドプラットフォームKomConnectと、転圧管理も同時に導入して頂きました。KomConnectで現場の進捗、全体の管理が容易になり、作業効率も良くなっていると感じられ、感動してしまいました。」と話した。



工事部長 大崎茂樹 さん

茨城県 松崎建設(株) 様

茨城県潮来市の建設会社。
昭和47年の創業以来、東京・千葉・茨城・栃木エリアをメインに各種土木工事を手掛ける。
「“お客様第一”をモットーに、相手の立場になってより良いものを作り上げていく。」
幅広い年代の従業員とは毎年の社員旅行をかかさず、活気のある会社である。

掲載月:2017年2月

最高だね。 ICT建機

「ICTブルドーザは最高だよ！」と話すのは3現場でICT建機を運転してきたオペレータ。詳しく聞くと、「今までのブルドーザとは全く別物だね。最初は操作に不安を感じたけど覚えてしまえば簡単。広範囲に薄層仕上げが出来るし、細かい作業に神経を使う必要が無くなったから苦労も減ったね。何より身体が疲れないのが最高だよ。」と笑顔で教えてくれた。工事部長の大崎さんに導入した感想を聞いた。「メリットは、やはり丁張作業が要らなくなった事。そして層毎の細やかな調整が楽に出来る事だね。今までは、計画と異なるところには、測量作業が必要だったけど、それが無くなったのはとても大きいよ。前の現場では1ヶ月の工期短縮も可能だったし、段取りによっては、ICT建機をもっと有効に活かせるはずだよ。最高だね。」と笑顔で話した。

